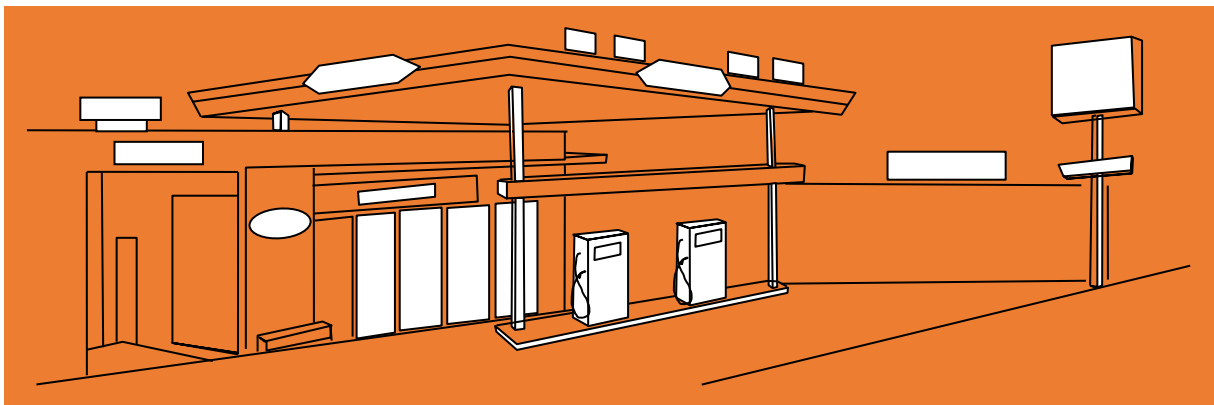


別記2 予防規程（例）

表 紙

給 油 取 扱 所 予 防 規 程



（会社名）

（給油取扱所名）

年 月 日（制定・変更）

CONTENTS

第1章 総 則

第1条 総括的事項

第2章 災害予防

- 第2条 保安業務を管理する者の職務等
- 第3条 危険物保安監督者等
- 第4条 災害予防上の保安教育
- 第5条 巡視・点検・検査
- 第6条 危険物の取扱作業基準
- 第7条 改修・補修・工事における安全管理
- 第8条 給油等の業務以外の業務を行う際の留意事項

第3章 災害対策

- 第9条 自衛の消防組織
- 第10条 災害その他非常の場合の措置
- 第11条 地震発生時における施設及び設備に対する点検、応急措置等

第4章 その他

- 第12条 保安記録・整備等
- 第13条 雑則

給油取扱所予防規程

第1章 総則

第1条 総括的事項

| 項 | 内容 | 関連図書 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|------|-----------------|---|------------------|---|-------------------|---|--|---|-------------------|---|-------------------------|---|------------|---|--|
| 1 | (目的) この規程は、消防法第14条の2に基づき、 <u>〇〇〇〇〇〇〇〇〇</u> 給油取扱所（以下「当所」という。）における危険物の取扱い作業その他防火管理に必要な事項について定め、もって火災、危険物の流出、震災等の災害を防止することを目的とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | (用語) この規程の用語は、次によるものとする。 法：消防法 危 政 令：危険物の規制のに関する政令 給油取扱所：危政令第37条に基づき指定される給油取扱所 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | (適用範囲) この規程は、当所に勤務又は出入りするすべての者に適用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | (遵守義務) 当所の従業員は、この規程を遵守しなければならない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | (告知義務) 当所の従業員は、当所に出入りする者に対して、必要に応じてこの規程の内容を告知し、遵守させなければならない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | (参画) この規程を変更しようとするときは、危険物保安監督者及び危険物取扱者等の意見を尊重し、火災予防上支障のないように変更しなければならない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | (変更認可) この規程の変更を行うときは川越地区消防局に変更の申請をして、認可を受けなければならない。ただし、次に掲げる内容は、変更認可を要さない。 (1) 予防規程の細則等を制定し、又は改廃したとき (2) 認可を受けた予防規程の添付図書等に変更があったとき (3) 危険物保安監督者を選任し、又は解任したことにより、氏名に変更があったとき | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | (細則委任) この規程の施行について、細部的に必要な事項を次の細則に委任するものとする。 <table><tr><th>細則名称</th><th>細則番号</th></tr><tr><td>単独荷卸しが行われる給油取扱所</td><td>1</td></tr><tr><td>屋外物品展示販売を行う給油取扱所</td><td>2</td></tr><tr><td>携帯型電子機器を使用する給油取扱所</td><td>3</td></tr><tr><td>固定注油設備を用いて、移動タンク(容量 2000ℓ 以下ごとに仕切られた 4000ℓ 以下のタンク)に注入（荷積み）を行う給油取扱所</td><td>4</td></tr><tr><td>顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所</td><td>5</td></tr><tr><td>災害時に緊急時対応用資機材を使用する給油取扱所</td><td>6</td></tr><tr><td>風水害対策の実施計画</td><td>7</td></tr></table> | 細則名称 | 細則番号 | 単独荷卸しが行われる給油取扱所 | 1 | 屋外物品展示販売を行う給油取扱所 | 2 | 携帯型電子機器を使用する給油取扱所 | 3 | 固定注油設備を用いて、移動タンク(容量 2000ℓ 以下ごとに仕切られた 4000ℓ 以下のタンク)に注入（荷積み）を行う給油取扱所 | 4 | 顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所 | 5 | 災害時に緊急時対応用資機材を使用する給油取扱所 | 6 | 風水害対策の実施計画 | 7 | 細則 1 細則 2 細則 3 細則 4 細則 5 細則 6 細則 7 |
| 細則名称 | 細則番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 単独荷卸しが行われる給油取扱所 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外物品展示販売を行う給油取扱所 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 携帯型電子機器を使用する給油取扱所 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 固定注油設備を用いて、移動タンク(容量 2000ℓ 以下ごとに仕切られた 4000ℓ 以下のタンク)に注入（荷積み）を行う給油取扱所 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害時に緊急時対応用資機材を使用する給油取扱所 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風水害対策の実施計画 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第2章 災害予防

第2条 保安業務を管理する者の職務等

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|-----------|--|------|
| 1 (所長の職務) | 所長は、危険物保安監督者以下を指揮し、当所において保安上必要な業務が適切に行われるようにする責務を負うものであり、施設が適正に維持管理されるように努めなければならない。 | 別紙〇 |
| 2 (役割分担) | 当所における安全管理を円滑かつ効果的に行うため、別紙のとおり保安の役割分担を定めなければならない。 | |
| 3 (引継) | 所長は、引継方法を明確にするとともに、全従業員に対して勤務交替時における引継事項の報告をさせなければならない。 | |

第3条 危険物保安監督者等

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|-----------------|---|------|
| 1 (危険物保安監督者の職務) | 危険物保安監督者は、消防法令に定められた業務（別紙）を行うほか、この規程の定めるところにより、当所の保安の維持に努める責務を負うものとする。 | 別紙3 |
| 2 (代行者) | 所長は、前項の危険物保安監督者が、旅行、疾病その他の事故により、不在となることを考慮し、あらかじめその職務を代行する者を危険物取扱者の中から指名しておかなければならない。 | |
| 3 (危険物取扱者の職務) | 危険物取扱者は、消防法令に定められた業務（別紙）を行うほか、この規程に定める危険物の貯蔵及び取扱い作業の安全を確保しなければならない。 | 別紙3 |
| 4 (従業員の職務) | 従業員は、消防法令及びこの規程を遵守するとともに、危険物保安監督者及び危険物取扱者の指示に従い、適正な危険物取扱作業及び給油取扱所の維持に努めなければならない。 | |
| 5 (掲示) | 危険物取扱者の氏名等は、在、不在の別を所内の見やすい箇所に掲示しなければならない。 | |

第4条 災害予防上の保安教育、訓練

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|----------|---|------|
| 1 (期間等) | 所長又は危険物保安監督者は従業員に対し、別紙により保安教育を実施するものとする。 | 別紙○ |
| 2 (訓練) | 訓練は、部分訓練と総合訓練とし、部分訓練は6か月に1回以上、総合訓練は12か月に1回以上とし次により行うこと。 (1) 部分訓練は、消火訓練等について行うこと。 (2) 総合訓練は、部分訓練を有機的に連携させ総合的に行うこと。 | |
| 3 (年間計画) | 保安教育及び訓練等の実施期間は、年間の計画を定めるものとし、臨時の新入社員等に対しては、勤務することとなった時とする。 | 別紙○ |
| 4 (内容) | 教育内容は、施設及び作業の実態に即した保安に必要な知識及び技能について行うものとする。 | |
| 5 (記録) | 保安教育及び訓練等を行った場合は、その都度、別紙「教育訓練実施記録表」に記録し、記録表は3年以上保存するものとする。 | 別紙○ |

第5条 巡視・点検・検査

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|------------------|--|------|
| 1 (給油取扱所の点検及び巡視) | 給油取扱所の構造及び設備を適正に維持管理するため、次に定めるところにより点検及び巡視を実施しなければならない。 (1) 点検は定期点検及び日常点検とする。 (2) 定期点検は消防法第14条の3の2の規定により年1回以上実施するものとする。ただし、地下タンク及び地下埋設配管の定期点検（漏れの点検）については、地下タンク点検対象設備の区分に応じた時期ごとに、危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第71条第1項及び第2項並びに第71条の2第1項の規定により、加圧、微加圧、微減圧、その他の方法等による点検方法で実施するものとする。 (3) 日常点検は危険物の貯蔵又は取扱いに関しその安全を確保するため、その施設の使用の開始前及び終業時に必要な点検及び巡視を行うものとする。 | |
| 2 (点検責任者) | 危険物保安監督者を点検責任者として定め前項の点検及び巡視を実施しなければならない。 | |
| 3 (異常時の対応) | 点検及び巡視を実施した者は、構造及び設備等に異常を発見した場合には、使用禁止等の表示をする等適切な処置を行うとともに、所長に報告して修理等を行わせるようにしなければならない。 | |
| 4 (結果) | 第1項の規定により点検及び巡視を実施したときは、点検記録簿に結果を記録し、定期点検については3年間、日常点検については1年間これを保存しなければならない。 | |

第6条 危険物の貯蔵及び取扱いの基準等

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|---|---|--------|
| 1 | <p>(貯蔵及び取扱基準)</p> <p>危険物を貯蔵し又は取扱う場合においては消防法令に定めるところによるほか、特に次の事項に留意しなければならない。</p> <p>(1) 危険物取扱者以外の者が危険物を取扱う場合は、甲種又は乙種危険物取扱者が必ず立ち会うこと。</p> <p>(2) 給油又は注油を行うときは、必ず顧客等が求める油種を確認し、給油又は注油しようとする危険物に誤りがないかどうかを確認してから行うとともに、その場所を離れないこと。</p> <p>(3) 移動タンク貯蔵所からの危険物受入作業は、当所の危険物取扱者が立ち合い、危険物の種類及び量を確認し、危険物が漏れ、あふれ、又は飛散しないよう細心の注意をもって監視すること。</p> <p>(4) みだりに火気及び火花を発生させるおそれのある機械器具等は使用しないこと。</p> <p>(5) 危険物を給油又は積み降ろしするときは、自動車等のエンジン停止を確認してから行うこと。</p> <p>(6) 灯油を容器に詰め替えする場合は、消防法令で定める基準に適合した容器に注油し、注油済みの容器はその場所に放置しないこと。</p> <p>(7) 給油又は注油、自動車等の転回、地下タンクへの危険物の注入等の支障となるような物件を置かないものとし、常に整理整頓に努めること。</p> | 別紙 7-1 |

第7条 改修、補修、工事における安全管理

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|---|---|------|
| 1 | <p>(補修等)</p> <p>危険物施設の改修、補修工事等を行うときは、その内容に応じて川越地区消防局に必要な手続きを行わなければならない。</p> | |
| 2 | <p>(立会い)</p> <p>前項の工事を行う場合は、万全の安全対策を講じた後、適正に行われるよう危険物保安監督者が立ち合い、工事関係者に対して指示をするなど監視監督を行うとともに、工事計画作成段階、工事中、工事終了後の区分に応じ、関係者への連絡体制を定め、保安の措置及び安全確認の体制を定めなければならない。</p> | |
| 3 | <p>(施設の工事における安全管理)</p> <p>前条の工事を行うときは、給油等の業務が非定常作業となることを認識し、次の事項を確実に実施しなければならない。</p> <p>(1) 工事中における火気の使用若しくは取扱いの管理は、工事部分と工事以外の部分が確実に養生され、消防法令に定める承認若しくは届出に基づき実施されていること。</p> <p>(2) 工事計画を承認する仕組みや手続き、工事開始、開始後に行うべき安全対策に関する保安情報等の遵守事項が全ての従業員、工事施工関係者に周知されていること。</p> | |

第8条 給油等の業務以外の業務を行う際の留意事項

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|---|--|------|
| 1 | <p>給油又は注油以外の業務を行う場合は、給油又は注油業務の支障とならないよう細心の注意を払うものとし、特に次の事項に留意しなければならない。</p> <p>(1) 給油又は注油、自動車の点検、整備もしくは洗車と関係のないものをもっぱら対象とするような業務を行わないこと。</p> <p>(2) 給油業務を行っていないときは、係員以外の者の出入りを禁止するため、ロープ、チェーン等を展張すること。</p> <p>(3) 所内にいる顧客等の状況に応じ、十分な係員を配置し、その整理、誘導及び喫煙管理等を行うこと。</p> <p>(4) 物品等の展示販売は、定められた場所（原則として建築物内、建築物周辺の屋外及び防火塀周囲）以外では行わない。</p> | |

第3章 災害対策

第9条 自衛の消防組織

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|----------------|---|------|
| 1 (組織構成) | 所長を消防隊長として、全従業員を隊員とした自衛消防隊を編成して、火災等災害時の即応体制を整えておくものとし、その編成及び任務分担は別紙のとおりとする。 なお、任務分担については、消防隊長及び隊員の氏名等を記入した自衛消防隊の編成表(別表)を所内の見やすい箇所に掲示しておくものとする。 | 別紙○ |
| 2 (業務内容) | 消防隊長は、災害時において隊員を指揮して初期消火その他の災害の拡大防止の措置を行い、また、公設消防隊が到着したときは火災等の概要について報告をするものとする。 | |
| 3 (代行者) | 隊員は消防隊長の指揮を受け、消防用設備等及び応急資機材を活用し、初期消火その他の災害の拡大の防止に努めなければならない。 | |
| 4 (活動) | 消防隊長は異常発生危険性を想定し、従業員の緊急参集体制を整備するとともに、吸着マット等の油回収資材・被害拡大防止のための資機材調達等、事前措置の体制を確立しておかなければならない。 | |
| 5 (消火活動等) | 消火活動等は次により行わなければならない。 (1) 火災、危険物の流出等が発生した場合には、消防隊長の指揮の下に、直ちに初期消火、顧客等の避難・誘導、消防機関への通報、危険物の流出防止等の応急措置を講ずること。 (2) 危険物が所外に流出し、または可燃性蒸気が拡散するおそれがあるときは、周辺地域の住民、通行人及び車両の運転手等に対して火気使用の禁止、その他必要な協力を求めるとともに、危険物の流出拡大防止、回収等の応急措置を講ずること。 | |
| 6 (緊急時の連絡等) | 当所に火災等の災害発生時に備え、通報及び連絡等は別紙により行わなければならない。 (1) 火災等の災害が発生した時の緊急連絡網(別表)を作成する。 (2) 災害を覚知した時は、前項の連絡網により従業員に連絡及び公共機関に通報すること。 (3) 連絡を受けた従業員は、当所に参集しなければならない。 | 別紙○ |

第 10 条 災害その他非常の場合の措置

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|---|---|-----------------------------------|
| 1 | <p>(非常時の措置)</p> <p>(1) 公設消防部隊に対する情報提供内容及び手段は、別紙による。</p> <p>(2) 緊急時の連絡網及び連絡手段は、別紙による。</p> <p>(3) 台風、異常気象に伴う大雨、洪水、内水、土砂及び強風(以下、風水害という。)による被害の軽減を図るため「風水害対策の実施計画」に定める措置を講じること。</p> | <p>別紙○</p> <p>別紙○</p> <p>細則 7</p> |

第 11 条 地震発生時における施設及び設備に対する点検、応急措置等

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|---|---|------|
| 1 | (地震発生時の措置) | |
| | 地震が発生したときは、直ちに危険物の取扱作業及び火気設備・器具の使用を中止しなければならない。 | |
| 2 | <p>前項の措置後は、人命の安全を確認するとともに次の点検を行わなければならない。</p> <p>(1) 火災・漏えい状況の目視確認</p> <p>(2) 施設の被害状況確認</p> <p>(3) 計量機、ポンプ設備の点検</p> <p>(4) 地下タンク等からの漏えい点検(液面計・漏えい検知管・側溝)</p> <p>(5) その他電気設備の点検</p> <p>(6) 隣接建築物の被害状況の確認</p> | |
| 3 | 施設の使用開始にあたっては前項の点検を行い、安全を確認した後でなければ使用してはならない。 | |

第4章 その他

第12条 保安記録・整備等

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|---|---|------|
| 1 | <p>（書類の保管）</p> <p>所長は次の関係書類を当所にて整備保管するものとする。</p> <p>（1）許可申請書・届出書類等の副本</p> <p>（2）所内の施設図面等</p> <p>（3）点検記録簿</p> <p>（例、過去3年の法定点検表、地下タンク（配管）気密検査表等）</p> <p>（4）設備の故障、補修等に関する記録</p> <p>（5）作業手順の変更に伴う保安設備に関する変更の記録</p> <p>（6）異常時の応急措置に関する記録</p> <p>（7）事故に関する記録</p> <p>（8）予防規程</p> | |

第13条 雑則

| 項 | 内容 | 関連図書 |
|---|---|------|
| 1 | <p>（予防規程違反者への措置）</p> <p>所長は、この規程に違反する行為を行った者に対して、直ちにその作業を停止させるとともに、厳重注意その他の必要な措置をとるものとする。また、再教育を実施し、再び違反しないよう指導する等の措置を講じるものとする。</p> | |

附 則

（施行期日）

この規程は、 年 月 日から施行する。